

# 温海地域審議会 提言書

平成23年12月15日

はじめに

温海地域は、27の自治会（自治公民館）を中心として、社会教育事業の推進、歴史・文化の保存・伝承、地域の安全・安心の確保等、コミュニティ活動が活発に展開されております。しかし、少子高齢化と過疎化の進行による人口の減少は、地域コミュニティの活動に大きな影響を与えるばかりでなく、農林水産業や観光業をはじめとする産業振興にも大きな影響を与えております。

一方で日沿道「鶴岡～温海間」の供用開始と併せ、主要地方道余目温海線の国道7号への接続も整備が進められ、今年8月には日沿道「朝日まほろば～温海間」も計画段階評価に着手されるなど、インフラ整備は順調に進んでおり、地域の活性化に大きな効果をもたらすものと期待されております。また、温海地域には豊かな自然や歴史・文化といった地域資源が数多く残されており、この豊かな地域資源をいかに活用し地域の活性化を図っていくかが課題となっております。

このような状況の中、温海地域審議会は平成22年度から研修や分散会、現地視察を含め9回の審議会を開催してまいりました。この間、委員一人ひとりがテーマを提案し、その中から「地域グループのネットワーク化」、「日沿道延伸に伴う観光誘客事業」、「農林水産業の後継者づくり」の3つを温海地域のテーマとし、地域活性化のため、その解決策を真剣に検討・協議を行い、より具体的な施策に踏み込んだ内容の提言書を作成しております。

今後共市民と行政が一体となり地域の活性化に取り組み、温海地域の振興はもとより、鶴岡市全体の発展に寄与することを祈念し、提言といたします。

平成 23 年 12 月 15 日

鶴岡市長 榎本政規 様

温海地域審議会会長 奥井 厚

# 目 次

## I 地域振興に関する提言

### 提言1 地域グループのネットワーク化について

- |               |       |   |
|---------------|-------|---|
| 1. 現状と課題      | _____ | 1 |
| 2. 提言の概要      | _____ | 1 |
| 3. 具体的な解決策・施策 | _____ | 2 |

### 提言2 日沿道延伸に伴う観光誘客事業について

- |               |       |   |
|---------------|-------|---|
| 1. 現状と課題      | _____ | 3 |
| 2. 提言の概要      | _____ | 3 |
| 3. 具体的な解決策・施策 | _____ | 4 |

### 提言3 農林水産業の後継者づくりについて

- |               |       |   |
|---------------|-------|---|
| 1. 現状と課題      | _____ | 6 |
| 2. 提言の概要      | _____ | 6 |
| 3. 具体的な解決策・施策 | _____ | 7 |

## II 温海地域審議会の開催状況 \_\_\_\_\_ 9

## III 温海地域審議会委員名簿 \_\_\_\_\_ 10

# I 地域振興に関する提言

## 提言 1 地域グループのネットワーク化について

### 1. 現状と課題

温海地域は海、山、川、そして温泉と豊富な地域資源を有しており、この豊富な地域資源を活用し観光協会や自治会、地域グループなどが年間 60 を超える多くのイベントを行っている。しかし、現在は道路事情などもあり地域間のつながりが少なく、同じ日に地域内で複数のイベントが開催されているにもかかわらず、それぞれのイベントで完結してしまうなど個々の事業の連携が取れていない状況にある。また、それぞれの団体が持っている人や物、イベントのノウハウなどの情報もうまく提供されていない現状にある。

せっかく訪れた参加者をより長く温海地域に滞在させ、温海の魅力を広くPRするため、地域連携を密にし、新たな活力を生み出す方策が課題になっている。

併せて整備が進む日浴道と地域内に設置される3箇所のインターチェンジを有効活用し、豊富な地域資源や各集落、団体の取組みを「点」から「線」へとつなぎ、「活力ある温海」「魅力ある温海」づくりのため、市民と行政が一体となった取組みが課題となっている。

### 2. 提言の概要

#### ▼イベントコーディネーターの配置によるイベントバンクの運営

各集落、団体の取組みを「点」から「線」へとつなぐために、地域内イベント情報や各主催団体で所有するボランティア等の人的資源、音響等資器材の物的資源を一元的に管理するイベントバンクを運営し、ホームページ、市広報、情報誌等を利用したイベント情報の発信や資源の提供を行うことで主催団体の負担を軽減するとともに、新たなイベント起こしにも大きな効果が期待できる。

また、同時期、同日に開催されている地域内イベントも多くあることから、それぞれのイベントに関連性を持たせることや、観光資源や歴史・文化的資源を有効に活用するとともに、イベント共通券の発行などにより地域内への滞在時間を確保することが必要である。

これまで単独で実施してきた各種イベントに連帯感を持たせるとともに、ボランティ

アや物品などを有効に活用でき、さらにイベント実施に関するノウハウを蓄えることにより、新たなイベント起こしにも効果が期待できることから、イベントバンクの設置を図り、その中核を担うイベントコーディネーターを養成するとともに、その活動環境の整備を進めるよう提言する。

### 3. 具体的な解決策・施策

#### ▼「あつみイベントバンク運営事業」の実施

各団体に対するイベント関連情報の提供によるイベントの開催支援と新たなイベント起こしへの支援や、地域内イベントについて関連性を持たせ、観光資源や歴史・文化的資源を連結させ、イベント共通券の発行などにより地域内への滞在時間を確保するための連結イベントの企画を行うとともに、ホームページ、市広報、情報誌等を利用したイベント情報の発信を行うための「あつみイベントバンク」を設置し、その運営支援を行うこと。

#### ○基礎調査の実施

地域内で行われているイベントや主催団体、ボランティア等の人的資源、音響等資器材の物的資源や観光、景勝地、歴史・文化等の地域資源情報について調査、集約を行う。併せて、事業実施に向け、行政、各関係団体による協議・検討を行い、効率的な運営体制を構築すること。

#### ○イベントコーディネーターの養成

事業実施にあたってはその中核を担うイベントコーディネーターの養成が不可欠であり、行政、民間を問わず適切な人選を行うとともに、研修等を行い、その養成を行うこと。

#### ○情報提供システムの開発

温海地域を含む鶴岡市内におけるイベントや観光地、文化財等の情報を一元的に管理し、必要な情報をスムーズに提供するためのシステムの開発を行うこと。

## 提言 2 日沿道延伸に伴う観光誘客事業について

### 1. 現状と課題

あつみ温泉の観光客は平成2年度の35万人をピークに減少傾向に歯止めがかからず、その対策として、温泉街の活性化に向けた「そぞろ歩きの楽しいあつみ温泉のまちづくり」を進めており、温海川沿いに整備された「かじか通り」を活用し、「せせらぎの能」などのイベントを開催し活性化に取り組んでいる。今後も民間活力の醸成、地域住民の協力などによる魅力的な店舗づくりの推進と、公共空間としての道路や公園の整備などが必要とされている。

昨今の観光客の動向は、昨年度実施したあつみ温泉実態調査からも判るとおり、団体旅行から個人・家族などの小グループ旅行へ、また、それに伴い公共交通機関利用から自家用車利用へと形態が大きく変化している。このような状況の中で日沿道の開通によって、(仮称)温海インターチェンジはあつみ温泉への重要な玄関口となり、これまでよりも遠方からの観光客の増加が見込まれる。一方、(仮称)温海インターチェンジからあつみ温泉へのアクセスはあつみ温泉トンネル経由の県道が主要道路となることから、インターチェンジ周辺はもとより、あつみ温泉へのアクセス道路周辺の散策道や景観を観光資源として活用した魅力ある観光地づくりが課題になっている。

### 2. 提言の概要

#### ▼温海地域ドライブコース作成・PR

(仮称)温海インターチェンジを降りてから、温海地域の有する自然的・文化的・歴史的資源を活用した地域内体験観光や、あつみ温泉街近隣の絶景スポットを整備し、併せてあつみ温泉を拠点とした周遊観光など、旅行客のニーズにあわせた魅力ある観光コースづくりを行い、PRすることで温泉旅館への宿泊客の増加が期待できる。また、ドライブコースとしての日帰り観光客の増加により、温海地域全体の集客も期待できることから、日沿道の開通に合わせた早期の作成と効果的なPRの実施を提言する。

#### ▼観光案内看板の整備

(仮称)温海インターチェンジからあつみ温泉までの県道沿いに歓迎塔(看板)を設置し、あつみ温泉街への誘導目印とするとともに、来訪者に対する歓迎の気持ちを表現できるような看板の整備を提言する。

#### ▼天魄山周辺の整備

天魄山山頂からの日本海や佐渡、鳥海山の素晴らしい展望を遮る杉などの伐採や山頂の展望施設の改修、駐車場周辺の環境整備を図り観光客にPRすることで、日帰り客はもとより、宿泊客が旅館からマイクロバスやタクシーで夜景を見に来ることも期待できる。また、天魄山中腹から通じる西山林道の眺望もすばらしく、林道周辺の環境整備や西山林道から神馬沢林道を結ぶ新たな林道が整備されれば魅力的な散策ルートになる。

あつみ温泉街近隣の絶景スポットとしてPRすることで温泉旅館への宿泊客の増加が期待でき、また、ドライブコースとしての日帰り観光客の増加により、温海地域全体の集客も期待できることから整備促進を図るよう提言する。

#### ▼温和の森の再整備

(仮称) 温海インターチェンジ近くの市道湯之里越路線の道路沿いに県が整備した「温和の森」があり、樹木が植樹され、散策道や休憩所、駐車場なども備わっているが、草木が生い茂っている箇所もあり、市民が森林散策などで楽しむためには、下刈りだけでなく除伐や枝打ちといった森林整備とソフト面も含めて市民が気軽に集えるような魅力的な森づくりを行う必要がある。具体的には新たな森林の利活用として、大会が開催できるグランド・ゴルフ場を造成し、「友愛の森広場」と併せて活用することを提言する。また、高速道路の利用者に施設の存在をPRするとともに、市民の生きがいをづくりと健康増進にもつながり、観光客数の増加によるあつみ温泉の活性化も期待される。

### 3. 具体的な解決策・施策

#### ▼「森林公園構想に係る調査事業」の実施

- (仮称) 温海インターチェンジに近接する温和の森や天魄山、西山林道周辺の素晴らしい自然環境と景観を活用し、森に親しむ機会の創出と体験型観光の拠点整備を目的とした「森林公園構想」の策定に向けた調査事業を実施すること。

#### ▼「温海地域ドライブコース作成・PR事業」の実施

- 温海地域の観光資源(自然・歴史・文化・生活体験)を活用したドライブコースの検討、作成を行い、効果的なPRを行うこと。

#### ▼「観光案内看板整備事業」の実施

- (仮称) 温海インターチェンジからあつみ温泉までの県道沿いに歓迎塔(看板)を設置し、来訪者に対する歓迎の気持ちを表現すること。

▼「天魄山周辺環境整備事業」の実施

- （仮称）温海インターチェンジから天魄山までの案内標識を設置し利用者の利便性を確保すること。
- 既存の展望台は老朽化が目立つことから修繕を行い、観光客等が安全に利用できるよう整備を行うこと。併せて新たな展望台の設置を検討すること。
- 山頂からは雄大な日本海をはじめとした素晴らしい景色を望むことができるが、周辺の樹木の生長などにより眺望が失われている状況にあり、その眺望を確保するための樹木の伐採、下刈り等の環境整備を行うこと。
- 山頂には駐車場が整備されているが、周辺の樹木が生長し、雑草が生い茂ることによって使用が制限されていることから、駐車場周辺の環境整備を行うこと。
- 山頂に休憩ベンチや見どころ説明板を設置し、利用者の憩いの場として利用できるよう整備を行うこと。

▼「温和の森の再整備事業」の実施

- 現在の散策ルートは草木が生い茂りその機能を失っている状況であり、支障木の除伐、枝打ちを行い、利用者の安全を確保するとともに、案内看板を設置し利便性を確保すること。
- 「温和の森」内の「遊友の森」に公園施設を整備し、憩いの場として、また、健康づくりの場として市民や観光客が気軽に利用できるようにすること。また、あつみ温泉にも近いことから近年競技人口が増加しているグラウンド・ゴルフ場を設置し、大会を誘致することで宿泊客の増加にも大きな効果が期待できる。
- （仮称）温海インターチェンジからも近いことから、間伐材を利用した案内看板の設置や案内パンフレットの作成を行い、観光客の利用にも配慮を行うこと。

## 提言3 農林水産業の後継者づくりについて

### 1. 現状と課題

温海地域は、地域の87%を山林が占めていることから、農業は少ない耕地面積で米の生産を中心に少量多品目の生産という特色がある。また、ほとんどが農家林家であり、「温海かぶ」、「しな織」、「特用林産物」の生産・販売と特色を活かした取組みを展開しているが、集落営農の組織化、担い手の育成、遊休農地・施設の活用、林道の整備が課題となっている。また、森林文化都市として森林の利活用の拠点となる「温和の森」や「小国ふれあい公園」が所期の目的を十分に果たしていない状況にある。

温海地域における農林水産業は高齢化が進み、農林業においては山林、農地の荒廃が進み、水産業においては沿岸漁業、特に一本釣り漁業や磯見船の高齢化が目立っており、内水面漁業においても、特に鮭の孵化事業において高齢化が進んでおり、後継者不足が深刻な状況にある。

一方で森の産直カー・海の産直カー事業などの新たな動きが出てきてはいるが、農林水産物の生産・集荷・販売だけでなく、所得の拡大のため、加工に取り組むシステムなどが必要とされており、そのための人材育成が求められている。

その対策のひとつとして、「団塊の世代」と呼ばれる方々を始めとして多くの方々が退職され、その知識・能力・経験を活かして地域の中で活躍されており、そのマンパワーを第一次産業の活性化に活かすことが求められている。当面、農林水産業を体験していただくことで収穫の喜び等を体感することにより、農林水産業に対する興味や関心を持ってもらい、第一次産業の後継者として定着させることが課題となっている。

### 2. 提言の概要

#### ▼農業後継者づくり

これまで実施してきた遊休農地の解消対策や未利用ハウスの実態調査等の結果によると、遊休農地の活用策については一部生産組合から取組みの希望や問い合わせがあったものの、豪雨災害の影響もあり解消には至っていない。一方、未利用ハウスの実態については、育苗ハウス以外のハウスはほとんどが年間を通じて作付けが行われているが、一部有効利用されていないハウスやオフシーズンの育苗ハウスなど利用可能な施設の存在が確認されている。これらのハウスや作付けするための条件が良好な休耕田などを活用し、稲作や畑作の体験事業を実施する。農地法との関わりもあることから、圃場は

市で事業用として所有者から借り上げ、体験事業として農産物の作付けを行うことを検討する。また、安定した作業の継続を図るため、なるべくグループによる取組みを推進するとともに、日沿道の開通を機に市民農園としての活用及び地域の特産である温海かぶの焼畑・収穫体験などの実施について提言する。

#### ▼林業後継者づくり

市と森林組合との連携による事業「サラリーマン林太郎」として一連の森林施業の実践事業や特用林産物の生産振興事業が展開されており、参加者から好評を得ていることから、今後間伐材の有効活用や、地域内の産直施設や商工団体等との連携などによる地域経済への波及も期待される所であり、今後とも積極的な事業の推進を提言する。

一方で木材の価格が上がらないと根本的な後継者不足の解決にはならないことから、木材生産コストの低減や特用林産振興のため、林道や作業道による林内路網の整備を促進し、山の資源を活かせる環境づくりについても併せて提言する。

#### ▼水産業後継者づくり

一本釣り船や磯見船に漁業者と一緒に乗船するなどして漁業を体験することや、子どもの頃から川遊びや磯遊び、貝取りなどを通して川や海に親しむことは後継者づくりに大きな効果が期待できる。しかし一方で子どもたちが川や海に親しむ機会も減少していることから、体験事業の実施と併せて子どもたちが気軽に川や海に親しめる環境づくりを提言する。

また、内水面漁業においては組合員の高齢化が進み鮭の孵化事業の存続が危惧されてきており、組織の統合も含めた新たな事業の展開を図ることにより、資源の確保と後継者育成への取組みを提言する。

### 3. 具体的な解決策・施策

#### ▼「サラリーマン第1次産業化プロジェクト」の実施

- 遊休農地や未利用ハウスなどを活用した稲作や畑作、また特産の温海かぶの焼畑・収穫ツアーなどの農業体験事業を実施すること。
- 「サラリーマン林太郎」事業を継続し、チェンソー講習会や木材の伐採、特用林産物の栽培講習を通して林業体験事業を実施すること。
- 「サラリーマン鮮太郎」事業として、一本釣り漁や磯見漁、市場見学などを通しての漁業体験事業を実施すること。

▼「子どもを対象とした自然体験教室」の実施

- 天魄山周辺の自然環境を利用し、子どもたちが自然に親しむ機会を作るための自然体験教室を開催すること。
- 内水面漁業協同組合と連携を図り、郷土の豊かな自然環境及び生命誕生の神秘と尊厳を体得することを目的に、子供を対象とした鮭の孵化体験事業を実施すること。

## II 温海地域審議会の開催状況

### 平成22年度

| 回数  | 開催日    | 内容  |
|-----|--------|---|
| 第1回 | 7月1日   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合計画三カ年実施計画について</li> <li>・ 平成22年度予算及び主な事業の概要について</li> <li>・ 平成22年度主要事業の概要(温海庁舎)について</li> <li>・ 平成22年度調査事項について</li> </ul> |
| 第2回 | 9月27日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議テーマに関する提案について<br/>(分散会)</li> </ul>   |
| 第3回 | 10月20日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議テーマに関する提案について<br/>(分散会)</li> </ul>   |
| 第4回 | 11月18日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴岡市総合計画について</li> <li>・ 鶴岡市過疎自立促進計画について</li> <li>・ 地域コミュニティ実態調査の実施状況と課題について</li> </ul>                                    |
| 第5回 | 2月15日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校適正配置検討作業について</li> <li>・ 今年度の地域審議会のまとめについて</li> </ul>   |

### 平成23年度

| 回数  | 開催日    | 内容  |
|-----|--------|---|
| 第1回 | 5月20日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 23年度予算及び主な事業の概要について</li> <li>・ 23年度審議会の進め方について</li> <li>・ 行財政改革大綱について</li> </ul> |
| 第2回 | 7月22日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマに基づく事業計画(案)の提案</li> <li>・ 現地視察(日沿道IC、温和の森、天魄山)</li> </ul>                     |
| 第3回 | 9月22日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政改革による地域庁舎の見直しについて</li> <li>・ テーマに基づく事業計画(案)の提案<br/>(分散会)</li> </ul>            |
| 第4回 | 11月16日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鶴岡市総合計画実施計画について</li> <li>・ 鶴岡市国土利用計画について</li> <li>・ 提言書(案)について</li> </ul>        |

### Ⅲ 温海地域審議会委員名簿

任期:平成 22 年 6 月 10 日～平成 24 年 6 月 9 日

| 役職  | 所属団体・役職名等                | 氏 名       | 備考 |
|-----|--------------------------|-----------|----|
| 会 長 | 温海地域自治会長会会長              | 奥 井 厚     |    |
| 副会長 | 温海町森林組合代表理事組合長           | 佐 藤 重 夫   |    |
| 委員  | 庄内たがわ農業協同組合理事            | 本 間 澄 男   |    |
| 委員  | 山形県漁業協同組合理事              | 本 間 満     |    |
| 委員  | 出羽商工会温海支部代表理事            | 柴 田 実     |    |
| 委員  | あつみ観光協会副会長               | 齋 藤 守 峰   |    |
| 委員  | あつみ福社会理事                 | 橋 本 忠 志   |    |
| 委員  | 温海地区民生児童委員協議会会長          | 五 十 嵐 孝 昭 |    |
| 委員  | 温海地区小中学校PTA会長連絡会幹事校PTA会長 | 佐 藤 隆     |    |
| 委員  | 温海体育協会会長                 | 佐々木 眞 人   |    |
| 委員  | 温海芸術文化協会事務局長             | 榎 本 五 郎 治 |    |
| 委員  | 鶴岡市老人クラブ連合会温海支部支部長代行     | 三 浦 喜 一 郎 |    |
| 委員  | 温海地域婦人会会長                | 佐 藤 美 代 子 |    |
| 委員  | 温海地域青年団体連絡協議会会員          | 五 十 嵐 安 貴 |    |
| 委員  | 鶴岡市消防団温海方面隊隊長            | 劔 持 孝 一   |    |
| 委員  | 公 募                      | 五 十 嵐 英 夫 |    |
| 委員  | 公 募                      | 鈴 木 義 一   |    |
| 委員  | 公 募                      | 齋 藤 徹     |    |
| 委員  | 公 募                      | 佐 藤 容 介   |    |
| 委員  | 公 募                      | 五 十 嵐 淳 子 |    |

#### 前委員

|   | 所属団体・役職名等                | 氏 名       | 備考          |
|---|--------------------------|-----------|-------------|
| 前 | 温海地域自治会長会会長              | 本 間 文 夫   | H23.5.19 退任 |
| 前 | 鶴岡市社会福祉協議会理事             | 三 浦 仁     | H23.5.19 退任 |
| 前 | 温海地区小中学校PTA会長連絡会幹事校PTA会長 | 三 浦 哲 哉   | H23.5.19 退任 |
| 前 | 温海地区老人クラブ連合会会長           | 五 十 嵐 良 介 | H23.9.30 退任 |